

## 文化交流部会のミニバスハイクが行われました 秋晴れの下、バラ、そば、ビールを楽しみました

杉本裕子（広報青年部会）

11月25日、NIA恒例のバスハイクは総勢39名を乗せて、午前8時に京成津田沼駅前を出発。雲一つない絶好の行楽日和で、車窓から雪化粧の富士山を見ながら一路目的地へ。今年のバスハイクは国立天文台、神代植物公園、深大寺、サントリー武蔵野ビール工場です。これらの場所は初めて訪れる方も多く、向かうバスではとても楽しみにしているといっていました。参加者も5歳のお子さんと一緒に中国のご家族、フィリピンのご夫婦、ガーナの日本語学習者と先生、アメリカの母娘、お友達同士など多彩で、笑い声の絶えない賑やかなバスハイクとなりました。

最初の見学先は東京・三鷹の国立天文台で、世界最先端の研究、観測施設を持つ日本の天文学の中核施設です。ここの他にも国内外に観測施設があり、特にハワイのすばる望遠鏡は有名でよく話題になります。今回の見学コースは「ヘビ・ハチにご注意ください」の看板がある鬱蒼とした林の中にあり、大正期の面影を残す施設でした。中に展示されている屈折望遠鏡、子午儀など多くが文化財になっています。第一赤道室の太陽黒点のスケッチ観測を案内してくれた方によると「今は太陽黒点が少ない時期ですが、今日は黒点を少し見ることができて良かったです。」との説明も

ありました。

次は神代植物公園。都内唯一の植物公園で、広い園内を植物の種類ごとに30ブロックに分けています。バラ園にはまだきれいなバラが咲いていてラッキーでした。また隣接する深大寺では「新そばまつり」が催されていて、境内はもちろん、お寺に至る参道も多くの人で賑わっていました。昼食に食べた名物のお蕎麦はやはり評判通り美味しく、参加した皆さんもお土産に買っていました。私も珍しく小分けされたそば粉が売られていたので買ってしまいました。紅葉もとてもきれいで、一番の見頃の時期に見物することができ、これもまたラッキーでした。

最後は皆様お待ちかねのビール工場見学です。工場内の作業現場にはほとんど作業員がいなくて、製品のビールだけが次々と出来上がっていました。ビールの試飲は3種類のビールの飲み比べで、ポピュラーな「ザ・プレミアム・モルツ」、フルーティーな「ザ・プレミアム・モルツ<香る>エール」、ちょっとお高い「ザ・プレミアム・モルツ～マスターズドリーム」。3種類のビールを飲み、ほろ酔い気分バスに乗った人も多かったようです。

楽しくて有意義な今年のバスハイクに感謝です。来年も期待しています。



神代植物公園(左)。国立天文台の反射望遠鏡(右)。ビール工場での試飲(下)。

